

市内一斉避難訓練でのご意見・ご質問にお答えします

昨年 12 月に実施した市内一斉避難訓練で参加者の皆さんからいただいたご意見・ご質問について、現在の須崎市の取り組みを踏まえてお答えします。

- 市内に設置している防災拠点倉庫には、どのようなものが入っていて、鍵などはどこが管理しているのか。
- 防災拠点倉庫には、現在、毛布・防災ラジオ・簡易トイレなどが入っています。現在、備蓄計画に基づいて防災拠点倉庫の配備を進めています。鍵の管理は、地震・防災課で行なっています。
- 避難道や避難場所の整備をしてほしい。
- 整備箇所は市内 8 地区の連絡協議会から要望されたものを整備しています。簡易な避難道は、補助金を活用して自主防災組織が整備しています。近所の公民館や自主防災組織にご相談ください。また、避難誘導灯は、要配慮者避難目標地点付近に設置を進めています。なお、避難道の途中への照明設置は、自主防災組織が補助金により実施しています。
- 急な避難道を緩やかにしてほしい。
- 土地の地形によって、どうしても階段や勾配が大きくなる避難道があります。整備した避難道には手すりを設置していますが、災害時には自主防災組織や地域住民で協力して避難するようにしてください。
- 既設の防災無線の受信機を新しいものに交換してもらえないか。
- 現在貸出している戸別受信機は、数に限りがあります。そのため、故障により防災無線の放送が聞けなくなった場合に受信機の交換を実施しています。受信機の不調を感じた際には、一度電池を交換して様子を見てください。それでも、不調があるときは地震・防災課までご連絡ください。

特定非営利活動法人アムダとの協定

2 月 2 日に、須崎市と特定非営利活動法人アムダは医療・公衆衛生分野等について、大規模災害時の支援に関する協定を締結しました。



アムダグループ代表菅波氏と楠瀬市長

市内防災アンケート結果

昨年 11 月に実施したアンケートの結果を今月号の広報に折り込んでいます。ぜひ、ご確認ください。

防災まめ知識

知ってナットク

災害時に役立つ日用品 リュックサック・手さげ袋

避難所での荷物整理や急な移動にも対応できます。特にリュックサックは両手が使えるのでおすすめです。

地震・防災課 地震・防災係

☎42・1236

平成 27 年 4 月

小児科 開設予定

救急病院

(財)日本医療機能評価機構認定病院

●内科 ●外科 ●整形外科 ●脳神経外科 ●眼科
●消化器内科 ●消化器外科 ●循環器内科 ●老年病科
●耳鼻咽喉科(月・金) ●泌尿器科(火) ●皮膚科(金) ●神経内科(火)
●放射線科 ●肛門外科 ●麻酔科(前迫雅樹) ●リハビリテーション科



医療法人 五月会

須崎くろしお病院

☎0889-43-2121(代) FAX 0889-42-1582

〒785-8501

須崎市緑町4-30

E-mail : satsukikai@susaki-kuroshio-hp.or.jp

U R L : http://susaki-kuroshio-hp.or.jp/

◆人間ドック / 一般健診 / 法定健診・企業健診

◆リハビリテーション365日実施(入院患者様対象)

